桜まつりの川床

栃木県宇都宮市釜川におけるパブリックスペースのデザイン

設計：宇都宮大学安森亮雄研究室
〒321-8585
栃木県宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学工学部8号館2階
tel/fax　028-689-6185
e-mail　yasumori@cc.utsunomiya-u.ac.jp
施工：(株)興建

Riverbed of Cherry Blossom Festival

Design of Public Space in Kama - River in Utsunomiya City, Tochigi

Architect：Yasumori Lab, Utsunomiya University
〒321-8585
Yoto 7-1-2, Utsunomiya, Tochigi 321-8585, Japan
tel/fax　028-689-6185
e-mail　yasumori@cc.utsunomiya-u.ac.jp
Construction：Yasumori Lab, Kohken

図1　水面をはさんでレベルを変えて配置された５つの川床

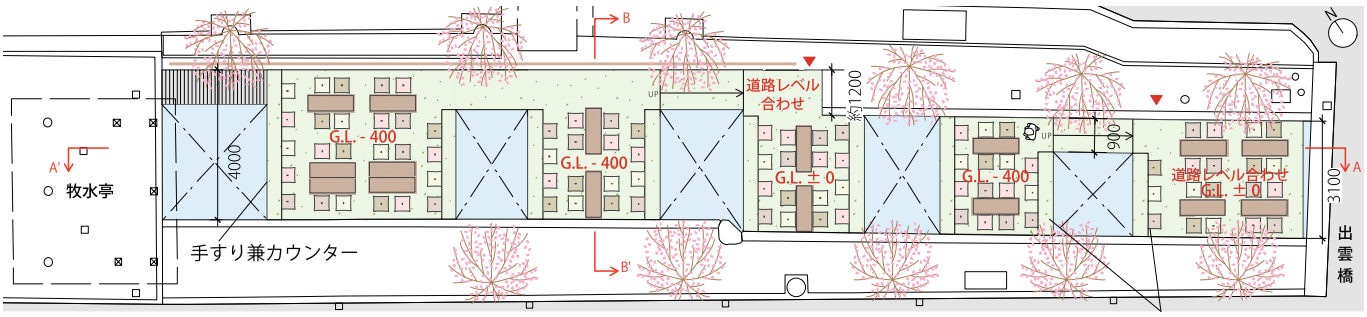

図2　平面図（縮尺 =1/200）

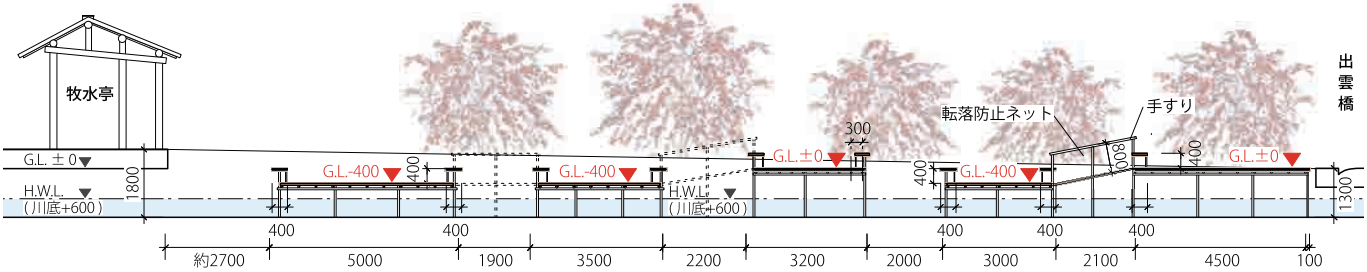

図3　長手断面図（縮尺 =1/200）

栃木県宇都宮市で行われた「釜川枝垂れ桜まつり」の会場デザイン。釜川は氾濫防止のために 1980 年代後半に二層構造に改修され、その後プロムナードが整備された。前年 11 月の「釜川 20 周年まつり」（前編）に引き続き、枝垂れ桜のある約 30m の区間で開催された桜まつりのために、川床をデザインした。川幅約 3m、川底まで平均約 1.5m という親密感のあるスケールに対して、6 帖から 10 帖程度の５つの川床を、水面をはさみながら、道路レベルと水面に近いレベルの２つの高さに配置した。構造は単管足場に合板を載せ、川に面する床端部にカウンターを設けている。すだれやシャンデリアのような枝垂れ桜と、カウンターのある川床によって、「都市の部屋」のようなパブリックスペースを創出し、新たな人の居場所と都市の風景を提供することを意図した。

所在地：栃木県宇都宮市荒町付近
　　釜川の牧水亭から出雲橋まで
主な用途：「釜川枝垂れ桜まつり」川床イベント
主催：宇都宮まちづくり推進機構
　　釜川改修記念 20 周年記念事業実行委員会
川床デザイン：安森 亮雄、金 知恩、勝又 亮介
　　（宇都宮大学安森亮雄研究室）
施工：(株) 興建
建築面積：78.5m^2
設計期間：2013 年 3 月～ 4 月
施工期間：2013 年 4 月 4 日～ 5 日
展示期間：2013 年 4 月 6 日～ 7 日

Location : Kama - River near by Arai, in Utsunomiya,Tochigi
　From Bokusui - Bower to Izumo Brigde
Main Use : Temporary Event Space
Organizer : Promotion Organization Utsunomiya town
　Committee of Kmagawa 20th Anniversary Festival
Riverbed Design : Yasumori Akio, Kim Jieun, Katsumata Ryosuke
　Utsunomiya University, YASUMORI Lab.
Construction: Koken
Building Floor Area : 78.5m^2
Project Dates : March - April, 2013
Construction Dates : 4th - 5th April, 2013
Exhibition Dates : 6th - 7th April, 2013

図 4　枝垂れ桜と川床による「都市の部屋」のようなパブリックスペース

図 5　単管足場による川床の構造の施工風景

図 6　人の居場所となる川床端部のカウンター

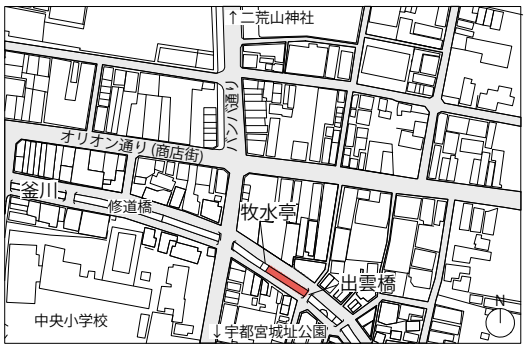

図 7　広域配置図（縮尺 =1/5000）

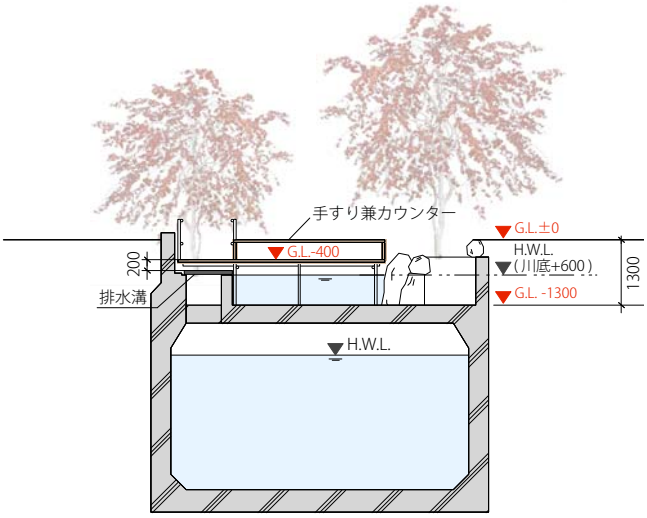

図 8　短手断面図（縮尺 =1/100）

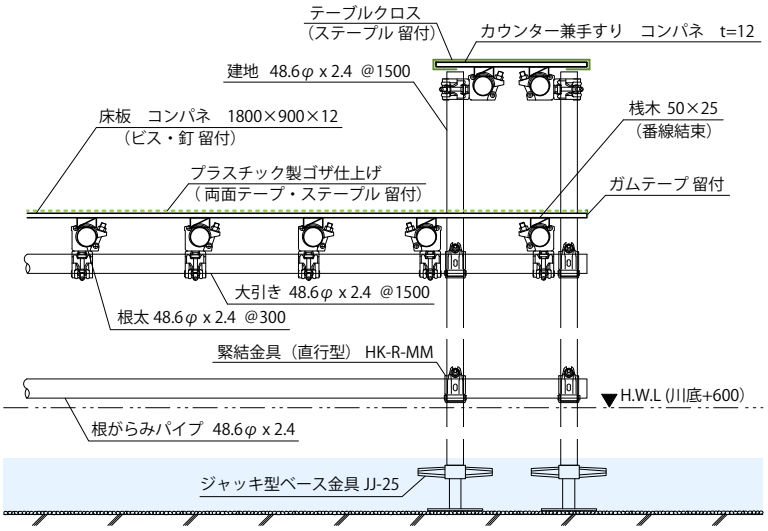

図 9　長手端部詳細図（縮尺 =1/20）